



2019年4月26日

千葉支社

2019年度 公益財団法人東日本鉄道文化財団 地方文化事業支援 「地方文化事業支援承認書贈呈式」の開催について

JR東日本千葉支社は、公益財団法人東日本鉄道文化財団と連携し、1993年度よりJR東日本管内各地の貴重な文化遺産や民俗芸能などの保全と継承、地域の発展を図るため支援を行ってきました。このたび、2019年度支援事業として千葉県佐倉市「間之町祭礼用具継承事業」、南房総市「小松寺文化財保存整備事業」に対して支援を行うことが決定しました。

つきましては、支援決定をお伝えする承認書贈呈式を執り行います。

1 「間之町祭礼用具継承事業実行委員会」への承認書贈呈

【事業名】間之町祭礼用具継承事業

【日時】2019年5月23日（木）

【場所】佐倉市立美術館

【事業内容】祭礼用具の1つである太鼓2台の製作



【間之町御神酒所】



【締太鼓】

～佐倉市「佐倉の秋祭り」「間之町祭礼用具」について～

- 350年以上にわたり継承されている祭礼で、毎年10月に21町会によって山車・屋台・神輿が巡行、渡御され、例年約25万人が来場される佐倉市最大規模のイベントです。
- 「城下町佐倉の祭礼」として2016年に認定された日本遺産「北総四都市江戸紀行・江戸を感じる北総の町並み」の構成文化財です。
- 御神酒所で佐倉囃子を演奏する際に使用する締太鼓は、製作より80年以上が経過し、革や胴の劣化が著しく、引き廻しの最中にちぎれてしまうことも多いです。締太鼓一対を新調し、継続的な御神酒所の引き廻し、文化財の保存・継承、地域の活性化を図ります。

2 「小松寺文化財保存整備事業実行委員会」への承認書贈呈

【事業名】小松寺文化財保存整備事業

【日時】2019年6月6日（木）

【場所】小松寺

【事業内容】小松寺の鐘楼堂の修繕



【小松寺】



【小松寺鐘楼堂】

～南房総市「小松寺」について～

- 小松寺は、文武天皇の御代に役小角が草庵を建てたのが始まりと伝わり、養老2年(718年)にお堂に建て替えられ、寺名を巨松山檀特寺とし、1300年の歴史があります。紅葉の時期を中心に多くの方が参拝に訪れます。
- 小松寺の梵鐘は、応安7年(1374年)に高階家吉と正氏が檀那となって寄進され、この梵鐘を吊るしている鐘楼堂は、明治21年(1888年)に、地元住民の長岡カル氏より寄進されました。
- 鐘楼堂は100年を超える建造物のため、老朽化に加え、東日本大震災時の大きな揺れなどにより傾斜が確認され、支柱及び土台を中心に修復し、南房総市の観光拠点として地域活性化を図ります。

3 東日本鉄道文化財団の地方文化事業支援について

公益財団法人東日本鉄道文化財団は、1993 年度より地方文化の振興を目指し、JR 東日本管内各地の貴重な文化遺産や民俗芸能などの保全と継承、地域の発展のために JR 東日本各支社が選出した事業に対し、資金援助を行う形で地方文化事業の支援を行っております（2019 度末時点で 217 件を助成）。千葉県内においては、香取市「佐原の山車」、いすみ市「行元寺」「飯縄寺」、南房総市「高家神社」、富津市「車力道」（鋸山、房洲石の歴史的遺構）、勝浦市「遠見岬神社」、佐倉市「八幡太郎義家山車人形」の文化財保存を支援してまいりました。



【八幡太郎義家山車人形】

※写真は全てイメージです。